

smokeho

煙を飼う

温かい料理の湯気が食欲をそそり

冬の吐息や、真夏の朝靄が季節の訪れを予感させる

温泉の蒸気が身体をほぐし

煙草の煙が休日の喫茶店を漂っている

線香の一筋が伸び上がって

燻る焚火が、太古の記憶を遡行していく

けむりは、どこか心地よいものに付き纏っているようです

唐突に、孤独を強いられる時間が増えました

長いこと集団に従属していた私たちは、

孤独の嗜み方を忘れてしまったようです

一体いつから、休息は移動を伴うようになったのでしょうか

ここにいて、揺蕩う煙を捕まえて、眺めてみる

唯それだけで、どこか遠くの場所や時間、

複数の形の中にトリップできるというのに

煙は、予感のアナロジーだろうか

モヤモヤ フワフワ クネクネと

自ずと身体が弛緩して

この鉛のような頭など、遥かに越境して

もっと遠くの方まで行けそうではありませんか

